

初めの愛に戻るか 黙示録 2:1-7	2021. 11. 21(霜月)丘の上 NO. 670 春日部福音自由教会 山田豊
--------------------	--

来週は合同礼拝、午後は信徒の学びとなります。神学の分野では終末論で扱う事柄です。祈り会で黙示録をゆっくりとよんでいることもあり、次週の備えという意味で、本日は黙示録を開いてみましょう。

日本ではコロナ新規感染者数が減少し、海外からの人流制限も緩和されるようになってきました。まだまだ安心はできませんが、ほっと一息つける感じですが。今回のパンデミックの経験とそこから得た教訓を大切に、これからの生活のあらゆる分野に活かしていかななくてはならないと思います。人類の歴史を見ると、このようなことによって社会が大きく変わり、今に至っていることが分かります。今日状況にあてはめれば、パンデミック前に戻って同じような生活をするというのは、ありえないということです。

本日の説教題は、よく知られた黙示 2:4,5 から取っています。教会内に入り込んだ偽使徒を見抜き、偽りの教えに引きずられることもなかったエペソの教会の人たちでしたが、初めの愛から離れてしまったと、非難されているのです。このみ言葉は、最初にイエス様を信じた感動や熱い思いを忘れてしまった信者にあてはめることができます。たしかに、一人ひとりが信仰の姿勢、動機を吟味して、まず私たちを愛してくださった神様の愛に立ち返ることは大切です。それとともに、教会の交わりとして、信者同士が愛の共同体として行っていたことを取り戻すことが大切です。エペソの教会は、パウロの伝道によって生まれ、弟子のテモテなどによって育ってきて教会です。黙示録が書かれた時代では、もう40年は経っていたでしょう。しだいに、信者個人も、教会の交わりも最初のアプローチから離れ、素晴らしい活動もいつの間にか途絶えてしまったのかもしれない。

初めの愛に戻るとは、もう一度同じことをするというものではありません。神様の愛に導かれて、この状況の中で行う新しいかたちが求められているのです。同じことの繰り返しは、墮落にすぎません。アフターコロナの社会では、例えばテレワークが増えてくる、地方に移住して暮らすなど、今までにはなかった新しい生活のスタイルになってくることでしょう。キリスト者生活も、これと似ています。労苦と忍耐の中で教えられた事柄を、新しいライフスタイルとして行うことが大切です。そのスタートは、どこから落ちてしまったかを思い起こし、悔い改めることです。そして新しいことを行うのです。初めの愛に戻るあなた自身が新しくされる、まずそのことを求めてまいりましょう。

2 コリント 5:17

誰でもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られたものです。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

引用聖句

使徒 20:29 私が去った後、凶暴な狼があなた方の中に入り込んで来て、容赦なく群れを荒らし回ります。

1 コリント 13:1-3、13 たとえ私が人の異言や御使いの異言で話しても、愛がなければ、騒がしいどらや、うるさいシンバルと同じです。たとえ私が預言の賜物を持ち、あらゆる奥義とあらゆる知識に通じていても、たとえ山を動かすほどの完全な信仰を持っていても、愛がないなら、私は無に等しいのです。たとえ私が持っている物のすべてを分け与えても、たとえ私のからだを引き渡して誇ることになっても、愛がなければ、何の役にも立ちません。

こういうわけで、いつまでも残るのは信仰と希望と愛、これら三つです。その中で一番すぐれているのは愛です。

エペソ 5:25 夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自分を献げられたように、あなたがたも妻を愛しなさい。

創世記 3:24 こうして神は人を追放し、いのちの木への道を守るために、ケルビムと、輪を描いて回る炎の剣をエデンの園の東に置かれた。

黙示 22:2 都の大通りの中央を流れていた。こちら側にも、あちら側にも、十二の実をならせるいのちの木があって、毎月一つの実を結んでいた。その木の葉は諸国の民を癒やした。

2 コリント 5:17 誰でもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られたものです。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

ヨハネ 3:5 イエスは答えられた。「まことに、まことに、あなたに言います。人は、水と御霊によって生まれなければ、神の国に入ることはできません。」

冷暖自知 (仏) 水が冷たいか暖かいは飲んで初めてわかるように、仏法の悟りは、人から教えてもらうものではなく、体験して親しく知ることのできるものであるの意(岩波書店 広辞苑第7版)